



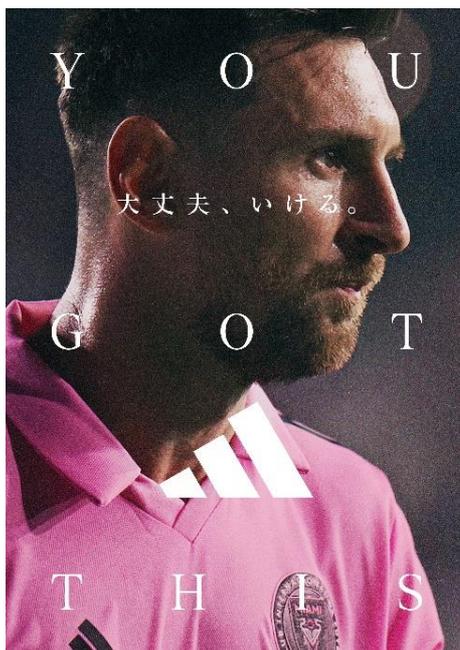
<報道関係各位>

2024年2月8日

アディダス ジャパン株式会社

“プレッシャー”を、ポジティブなカへ アディダスグローバルキャンペーン新章がスタート

～メッシ、久保建英、新谷仁美、山田哲人、長谷川唯などアディダスファミリーが集結～



<https://shop.adidas.jp/yougotthis/>

アディダス ジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：小佐妻 綾子）は、スポーツをする中で誰もが向き合う「プレッシャー」をテーマとしたグローバルブランドキャンペーンの一環として、日本と世界のアディダスアスリートが一堂に会するキャンペーン新章を、2024年2月11日（日）よりスタートいたします。

アディダスは、「YOU GOT THIS（大丈夫、いける。）」をメッセージに、アスリートがプレッシャーから解放され、純粋にスポーツに向き合うことで広がる可能性をテーマとした新グローバルブランドキャンペーンを2024年1月より開始しました。今月より始まるグローバルキャンペーン新章には、先日来日したばかりのリオネル・メッシをはじめとし、ジュード・ベリンガム、ジネディーヌ・ジダン、ラグビーニュージーランド代表（オールブラックス）といった世界的なスポーツアイコンはもちろん、久保建英選手や新谷仁美選手、山田哲人選手、長谷川唯選手など、世界を舞台に第一線で活躍する日本のアスリートが登場します。本日より公開となる新キャンペーンフィルムでは、それぞれの選手が大きな舞台でプレッシャーを跳ねのけ、生き生きとスポーツをプレーする姿が描き出され、その姿を通して次世代のアスリートたちに自分を信じることを、そして何よりもスポーツを楽しむことの大切さを伝えます。

アディダスは、今後も本キャンペーンを継続的に展開し、プロアスリートだけではなく、あらゆるレベルのアスリートがプレッシャーをポジティブなカへと変え、自分の可能性を押し広げる挑戦を応援していきます。



新キャンペーンフィルム概要



今回公開となる新たなキャンペーンフィルムは、1月に公開となったフィルムに続き、スポーツをする中で誰もが感じるプレッシャーをテーマにしています。クイーンとデヴィッド・ボウイの名曲「アンダー・プレッシャー」に合わせ、様々なスポーツの第一線で活躍する世界のアディダス アスリートたちと、彼らにインスパイアされた次世代アスリートたちを数多くフィーチャー。大きなプレッシャーや観客からの期待を背負いながら、結果を出し続けるベリンガム選手や久保選手、プレッシャーをポジティブな力に変換し挑戦を続ける新谷選手、難易度の高い演技を本番で完璧に決めるマレウスキー選手、主将としての重圧に耐え抜きチームを勝利へと導く山田選手など、プレッシャーがかかるシーンでも自分を信じて生き生きとプレーするアスリートの印象的なシーンが次々と登場します。そして最後には、彼らに勇気づけられた次世代のアスリートたちが、自分の可能性を信じ「大丈夫、行ける。」という気持ちでスポーツへと向き合う姿が描き出されます。

- 期間：2024年2月11日（日）より公開
- 出演：リオネル・メッシ（サッカー）、ジュード・ベリンガム（サッカー）、パトリック・マホームズ（アメリカンフットボール）、アンソニー・エドワーズ（バスケットボール）、ジネディーヌ・ジダン（サッカー）、オールブラックス（ラグビー）、エミリー・マレウスキー（体操）、新谷仁美（陸上）、山田哲人（野球）、久保建英（サッカー）ほか
- キャンペーン特設サイト：<https://shop.adidas.jp/yougotthis/>

アスリートインタビュー「プレッシャーとどう向き合っていますか？」

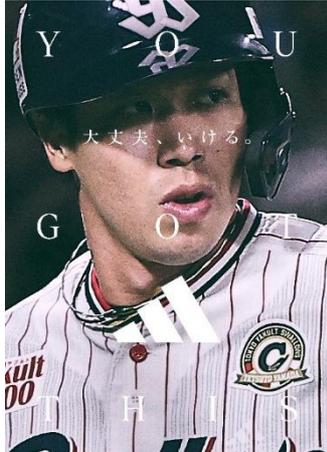
■ 新谷 仁美選手（陸上）



「自分で自分にプレッシャーをかけてしまうタイプだとは常に感じています。でもそれは、自分を支えてくれている人たちに対して、結果として返したいという気持ちがあるからだし、その気持ちを常に持ち続けることが、自分にとってはいい緊張感を生み出してくれるんです。プレッシャーに向き合うときに心がけているのは、緊張感やプレッシャーをうまく自分のリズム感に落とし込んで、当たり前ルーティーンに取り込んでしまうこと。それから、最後は自分自身に『大丈夫だよ』と言ってあげること。そうすることで、プレッシャーをポジティブな気持ちへと変えられると思います。」

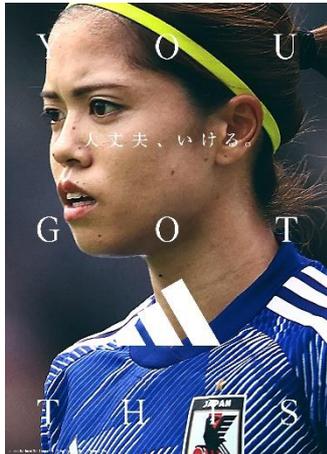


■ 山田 哲人選手（野球）



「僕自身はすごく緊張する方なんです。大舞台でのプレッシャーも感じますし、必ずしも力を発揮できない時だってあります。ただ無理に緊張を感じないように努力するのではなく、そのプレッシャーの中でどうやるかを考えるようにしています。どうしても緊張はするものだから、その重圧を受け止めたうえで、その中で良いプレーをできるように心がけています。」

■ 長谷川 唯選手（サッカー）



「もともとポジティブな性格だからか、試合前に緊張したことはありません。いつでも試合にはすべて勝つイメージで挑みますし、こういうプレーがしたいという風に考えていることが多いです。基本的にサッカーを楽しむことが大事だと思っているので、プレッシャーを感じるというよりも、試合を楽しみにする気持ちの方が大きいかもしれません。」

アディダス 最新情報

- ・ アディダス アプリ <https://shop.adidas.jp/mobileapps/>
- ・ アディダス オンラインショップ <https://shop.adidas.jp/>
 - アディダス ランニング <https://shop.adidas.jp/running/>
 - アディダス サッカー <https://shop.adidas.jp/football/>
 - アディダス トレーニング https://shop.adidas.jp/sports_training/

© 2024 adidas Japan K.K. adidas, the Performance Logo and the 3-Stripes mark are registered trademarks of adidas.

<一般のお客様からのお問い合わせ先>

アディダスお客様窓口 Tel : 0570-033-033 (土日祝除く、9:30~18:00)